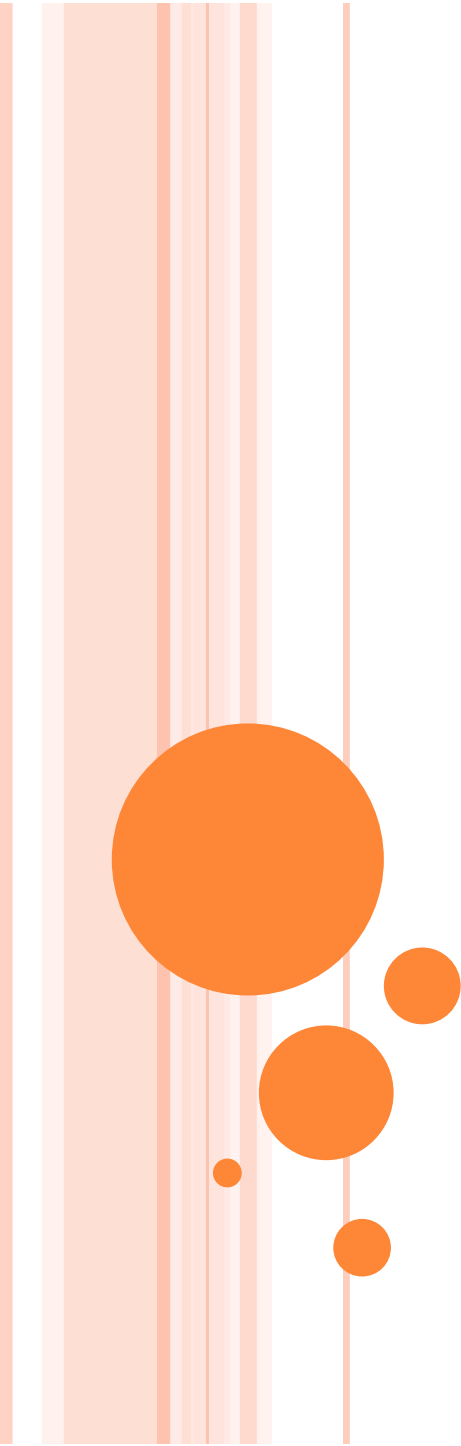




令和7年度
東神楽町

就学時ガイダンス

東神楽小学校コーディネーター

鹿内 千晴

古賀 千尋

- ①東神楽小学校の概要
- ②特別支援教育とは
- ③東神楽小学校の特別支援教育
- ④適切な理解と支援のために



①東神楽小学校の概要

- 全校児童 174名 13学級（特別支援学級7含む）
- 特別支援教育対象児 53名
- 特別支援学級 32名
（知的7、情緒22、言語1、弱視1、肢体1）
- 通常学級 21名（うち通級指導教室利用17名）

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	25	30	40	23	29	27	174
特支数	3 (3)	3 (4)	8 (4)	4 (5)	6 (1)	8 (0)	32 (17)



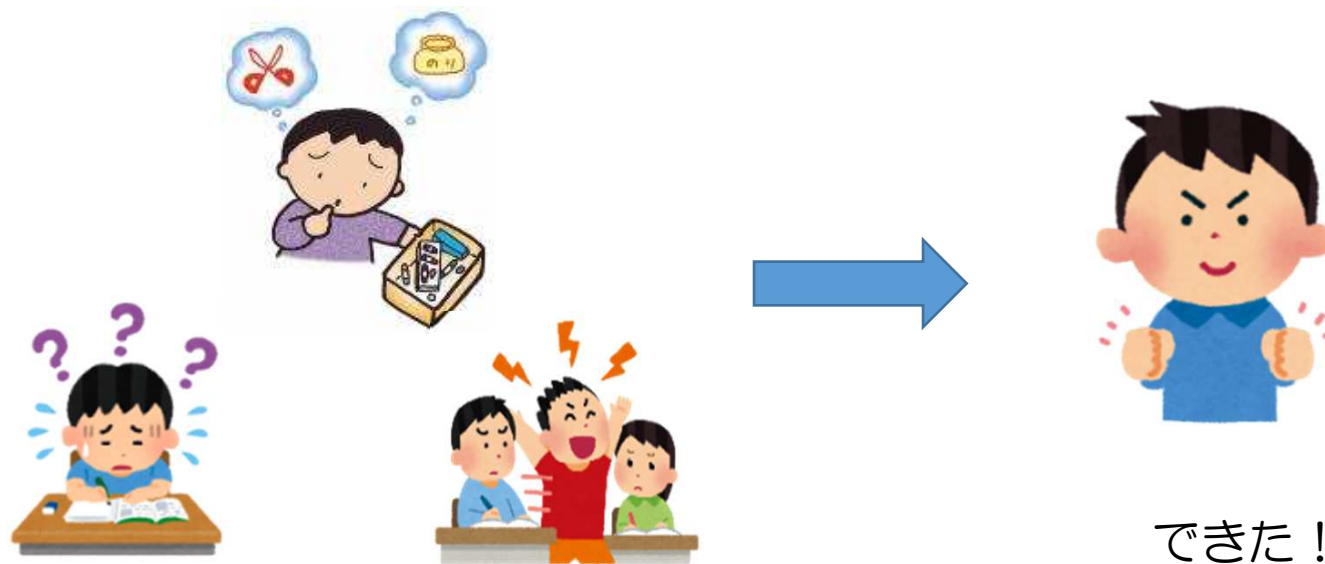
②特別支援教育とは

特別支援教育とは、児童一人一人の教育的ニーズを把握し、本人の持つ力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う教育です。



困っている様子は見られませんか？

努力しているけれど覚えられないことがある。
忘れ物が多い。整理整頓が苦手。
集団活動に落ち着いて参加できない。
友だちとのトラブルが多い。など



- 生活面や学習面で困っていることに対し、一人一人のお子さんに合った支援を行うため、様々な学習のスタイルがあります。
- できることを増やし、成功体験を積むことは、自己肯定感を高め、意欲的に生活することにつながります。
- 社会性や学力を伸ばし、将来の自立や社会参加の基礎を培うことができると考えています。

支援



必要な時に必要なだけ

必要がなくなったら、支援は、はずします。



③東神楽小学校の特別支援教育

- サポート対象（通常学級在籍）
- 通級指導教室（通常学級在籍）
- 特別支援学級（特別支援学級在籍）



- サポート対象（通常学級在籍）

- 一斉指導の中で、お子さんの生活や学習面の様子を、担任・TT（チームティーチング）が細かく確認します。
- 今後、通級指導の必要性があるかどうかを検討します。（2年生まで）



• 通級指導教室（通常学級在籍）

＜自立活動＞

- 国語や算数の時間を中心に教室を離れ、担当の教員と個別や小集団で活動します。
- 週1～3時間程度、お子さんの苦手なことに応じた活動をします。
- SST（ソーシャルスキルトレーニング）では、自分の苦手な部分を知ることやトラブルについての対応策など、社会性を高める学習をします。
- 発音やコミュニケーションの基礎能力は、発達支援センター等と連携しながら指導します。



• 特別支援学級（特別支援学級在籍）

- 一人一人の実態に合わせた、きめ細やかな指導を行います。
- 支援学級において小集団の学習、協力学級（通常学級）での学習を行います。
- 通常の教科学習に加え、お子さんの困難を解決するための学習（自立活動）、生活に根ざした学習（生活単元学習）などお子さんの実態に合わせた学習を行います。



特別支援学級 ～学習形態など

<小集団の学習>

教科学習（主に国語，算数）

自立活動

生活単元学習

<協力学級との共同及び交流学習>

教科学習 道徳 外国語

自立活動とは
よりよい生活を送るための学習。

生活単元学習とは
体験的な活動を通して教科的な内容
や生活に必要な事柄を身に付ける学
習。

- ・児童の実態に応じて学習内容や支援体制が変わります。
- ・協力学級の担任による全体指導で学習する場合もあります。



④適切な理解と支援のために

☆個別の支援計画及び個別の指導計画の作成

- ・対象のお子さん全員について作成します。
- ・お子さんの実態を把握し、目標を決めて支援にあたります。

☆ケース会議の実施

- ・年2回（今年度は6月・2月）実施します。
- ・お子さんの様子や支援内容・方法について話し合います。担任が替わった場合や中学校進学の際には引継ぎを行います。
- ・担任だけではなく、特別支援担当、通級担当が参加します。また、おひさま教室などの関係外部機関が参加することもあります。

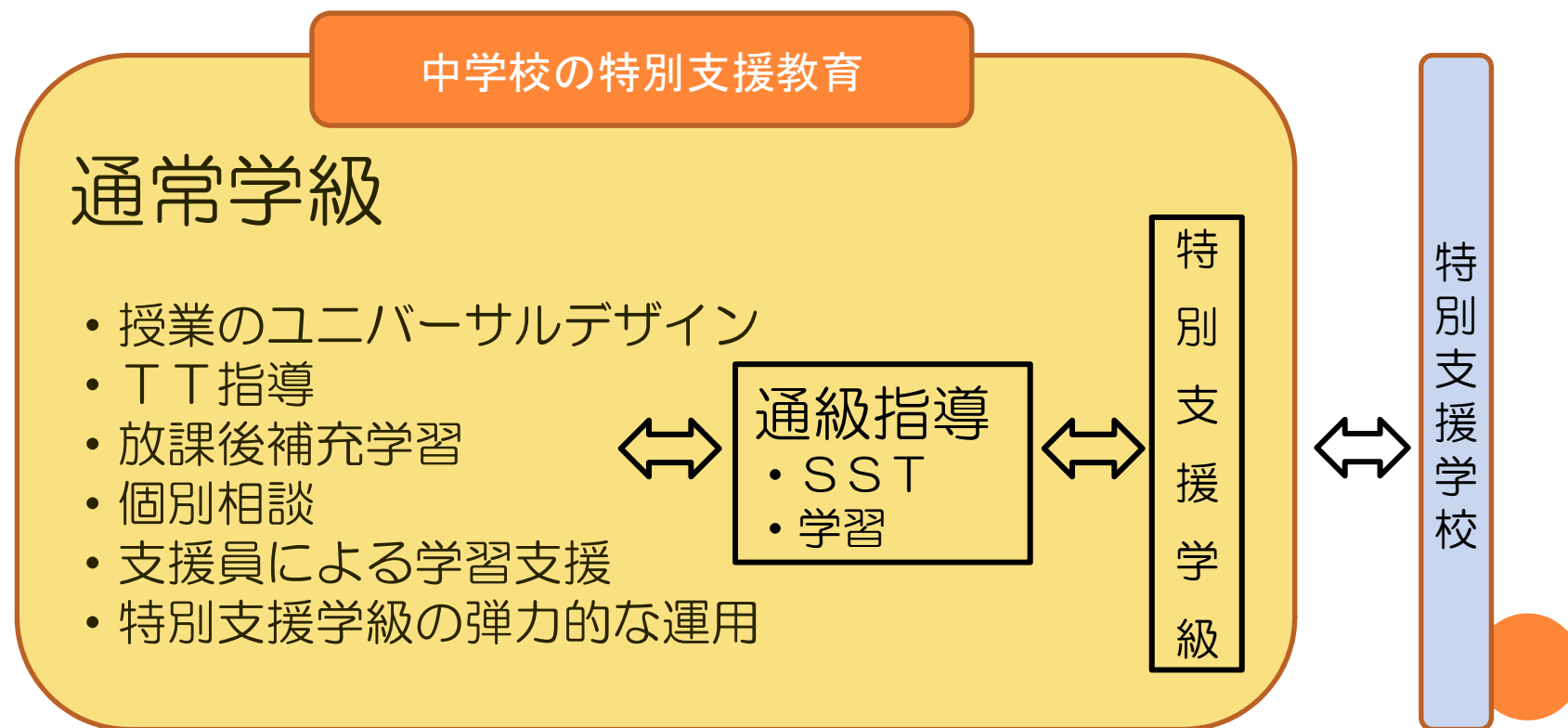
☆他機関との連携

- ・必要に応じて、他機関（デイサービス、医療機関、療育機関等）との連携を行います。



☆東神楽中学校との連携

- 教育相談の実施
- 引継ぎ



教育相談を実施しています。特別支援教育について更に詳しく知りたい、お子さんに合った学習スタイルについて検討したいなど、どんなことでも構いません。どうぞお気軽にご相談ください。

東神楽小学校：83-2344
特別支援教育コーディネーター
鹿内 千晴 古賀 千尋

